

びろっば

Vol. 465 2025. 4



近森会グループ
各施設の目標

医療情報

脳神経内科 物忘れ外来 新設

近森病院附属看護学校 卒業式

表紙の写真

インドネシア人スタッフ
振袖体験

近森病院 近森リハビリテーション病院 近森オルソリハビリテーション病院 からのお知らせ

ゴールデンウィークは
暦通りの診療体制
です。

| 4月 | | | 5月 | | | | | | |
|------------|--------------------|------------|-----------|-----------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-----------|
| 28日 (月) | 29日 (火) 昭和の日 | 30日 (水) | 1日 (木) | 2日 (金) | 3日 (土) 憲法記念日 | 4日 (日) みどりの日 | 5日 (月) こどもの日 | 6日 (火) 振替休日 | 7日 (水) |
| 通常診療 | 救急体制での診療 | | 通常診療 | | 救急体制での診療 | | | | 通常診療 |

新人を迎えて

社会医療法人 近森会 副理事長
近森病院 院長

川井 和哉 かわい かずや

はじめに

今年も多くの新人を迎えることができたことを嬉しく思います。新入職員の皆さん、入職おめでとうございます。職員一同心から歓迎します。新しい力は我々にとっても大きな刺激になり、当院がますます活気づき成長する糧となります。一緒に高知の医療を支え、県民にとって頼りになる病院として発展させていきましょう。

近森会の概要

近森会は、高知の基幹病院として、高度急性期から回復期リハビリ、在宅サポートまでシームレスな医療を展開しています。近森会全体で現在、医師161名を含めスタッフ総数約2,000名です。しかし、当会のスタッフだけで全ての医療に対応することはできません。そのため病状が落ち着けば、かかりつけの先生方に紹介し地域で診てもらい、悪くなればまた近森へ紹介していただくという地域医療連携を20年以上前から実践してきました。

また、医師・看護師の周辺業務を多職種に委譲し、診断、治療、看護というコア業務に絞り込むことで、医師、看護師は本来の業務に専念できる体制を取っています。多くの医療専門職が病棟に常駐し、それぞれの視点で患者さんを診て判断し介入しています。各分野では、みんなが主役であり、いきいきとやりがいを持って働いています。

▼ 近森会グループ2024年度を振り返って





社会人として

社会人になると、教科書やマニュアル通りにいかないこともあります。職場では覚えることも多く、分からないことも出てくるでしょう。初めは分からなくて当然です。遠慮なく先輩たちに訊いてください。

臨床現場に上手く入っていただけるかどうか、不安を抱えている新人も少なくないと思います。しかし、心配ありません、大丈夫です。近森会には、充実した研修体制があります。また、世話好きが多く、先輩たちからの熱烈指導という風土もありますので、安心してください。

ただし、社会人として、元気に笑顔で挨拶をしましょう。それがすべての基本です。そして、「ほうれんそう(報告・連絡・相談)」を忘れないようにしてください。

ポストコロナ時代

わが国で新型コロナウイルス感染症患者が確認されてから、5年が経とうとしています。大災害級のイベントであり、当院も大きな影響を受けました。しかし、職員たちの状況に応じた迅速な対応や、職種を超えた協力体制によって乗り越えることができました。質の高い医療を目指し、自己変革を繰り返すことによって培ってきたチーム医療の証だと誇りに思います。当院の最大の強みはヒト(職員)であり、まさに宝です。

働きやすい職場作り

さらに働きやすい職場を目指し、今年度は様々な検討事項を実践に移していきます。業務改善や医療DXを推進し、効率的で質の高い医療を展開します。新しいことを始めるときは困難や課題も出てきますが、それ以上の楽しみや達成感も期待できます。チカモリらしく前向きに取り組んでいきましょう。働き方改革を進め、待遇や福利厚生を充実させ、やりがいと誇りを持って働ける職場を作っていきます。

激変する高知の地域医療

高齢先進県の高知では、すでに高齢者人口の減少が始まり、急速な少子化による働き手不足が大きな問題となっています。2024年の診療報酬の改定や医師の働き方改革の開始など、医療

を取り巻く環境はますます厳しくなっており、日本最先端の「機能分化と連携」が必要な時代を迎えています。近森病院は高度医療、急性期医療に機能を絞り込み、近森会だけでなく他の医療機関と強固な関係性を構築し、一歩進んだ地域医療連携を推進していきます。

高価値の医療を提供

これからは今まで以上に価値の高い医療が求められます。重要なことは、より大きな成果を、いかに少ないコストや時間で達成し、患者さんに喜んでいただける医療を提供できるかです。全職員が高価値の医療を理解し、実践していただきたいと思います。

医療はまさにライフラインであり、どんな状況でも必要です。そして若者の雇用の場としても大きな役割を担っています。このことを肝に銘じ、高知の地域医療に貢献していきたいと思っています。

チーム医療で楽しく働こう

皆さんが入職された近森病院は、医師、看護師だけでなく、薬剤師やリハビリスタッフ、管理栄養士、臨床検査技師、臨床工学技士、診療放射線技師、ソーシャルワーカー、救急救命士といった医療専門職と病棟常駐型のチーム医療を展開しています。近森方式のチーム医療は、質、量ともに圧倒的で全国的に注目されています。このような職場で専門性を高め、患者さんにとって最良の医療が提供できるスタッフに成長してください。

さいごに

我々の目標は、患者さんが早く良くなって住み慣れた地域に帰り、元通りの生活を送ることです。医師、看護師だけでなく、医療専門職や事務、クラーク、アテンダント、清掃のスタッフに至るまで、みんなで心をつなげて同じ方向を向いて働いています。医療職というやりがいのある仕事を通じて人間性を高め、皆さんの人生がいきいきと充実したものになることを祈っています。皆さんの活躍を心から期待しています。

社会医療法人 近森会

理事長
入江 博之
いりえ ひろゆき



地域と共に存続していく 医療グループでありたい

「最も強い者が生き残るのではない。最も賢い者が生き残るのではない。唯一生き残る者は変化できる者である。」ダーウインのセリフとされています。

急速な少子高齢化社会の中、医療機関として求められるものも時代によって変化します。日常診療でもレベルが高く、大災害時でも医療を続けていけるような、地域に役立つ近森会グループでありたいと思います。

近森病院

高度救急医療を通じ 高知の地域医療に貢献

24時間365日、高知の高度救命救急医療を守り、困ったときに頼りになる病院であることが求められています。当院の宝はヒト（職員）です。さらに働きやすい職場を目指し、今年度は検討事項を実践に移していきます。チーム医療や医療DXを推進し、効率的で質の高い医療を展開します。他の医療機関と強固な関係性を構築し、一歩進んだ地域医療連携を推進します。働き方改革を進め、待遇や福利厚生を充実させ、やりがいと誇りを持って働ける職場を目指します。

院長 川井 和哉 かわい かずや



2025年度 近森会 各施設

近森リハビリテーション病院

変革せよ 変革を迫られる前に

院長 和田 恵美子 わだ えみこ



2000年に創設された回復期リハビリテーション病棟はいわば人海戦術で脳卒中や脊髄損傷の患者さんへの急性期後に対応してきましたが、少子高齢化や医療費の高騰で変わることを求められています。どのような障害があっても住み慣れたところでその人らしく安心して生活できるように支援するという理念を守るためにも変革を迫られる前に自分たちでできるところから変革していきましょう。今年度は5年ぶりのポリオ検診も再開します。ここ数年取り組んできたノーリフティングの次のステップとしてピラティスを取り入れた腰痛対策にもチャレンジしていきます。高知県に根付いている地域リハビリテーションをぶっ潰されないように全力で取り組んでいきます!!

近森オールソリハビリテーション病院

柔軟性 ～flexibility～

院長 鄭 明守 てい あきもり



全国でも数少ない整形外科専門のリハビリテーション病院として開院した当院も、医療情勢の変化に対応し2024年度から内科疾患の急性期治療後の患者さんにも療養していただけるようになりました。従来の整形外科専門医2名に加えて循環器内科専門医2名、総合内科医1名の陣容となり、整形外科疾患だけでなく内科疾患にも幅広い対応ができるようになっております。引き続き次の目標である在宅からの受け入れ体制を充実させるために、医師を含めた医療スタッフのスキルアップに取り組み、さらに在宅医療機関との連携をはかっていく予定です。小回りがきく当院の強みをいかながら高知県の地域医療に貢献していきたいと思います。

高知 ハビリテリング センター

グループ の目標



センター長
西岡 由江
にしおか よしえ

障害者の地域生活を 本気で考え・行動する

春野の地で、障害福祉サービス事業の運営をはじめて17年が経過しました。開設当初から変わらない「障害があっても諦めることなく、そのひとらしい人生のステージにつなぐ」という通過型施設としての役割を果たしてまいりました。結果、一人暮らしや就労など様々な自己実現への橋渡しを担ってきましたが、親亡き後の問題や重度障害者の相談、物価高騰、職員の人材確保など課題も増えています。現状を前向きに捉え、高知ハビリテリングセンターの目指す職員像「誰かの人生について本気で考え・行動できる人になる」を掲げ、利用者さんと共に成長し、障害者の地域移行の拠点となる施設として一層の活動充実を図ります。

しごと・生活サポートセンター ウェーブ

「今日もなんとかできたね」 を日々積み上げて

センター長 沼 慶子 ぬま けいこ



しごと・生活サポートセンター ウェーブは、就労を通して利用者さんの自己実現、働きがいや働く喜びを感じてもらえるよう軽作業とクリーニング業のみでなく、道路清掃、農福連携等様々な機会を提供し支援しています。近年は特別支援学校だけでなく普通校の卒業後の利用先として当事業所を考えてもらうことも増えており、あらたなニーズの高まりを実感しています。今後も「今日もなんとかできたね」と言える日々を利用者さんと職員とともに積み上げ、地域の歯車の一つとして活動していきたいです。

脳神経
内科

物忘れ外来 新設



3月1日開設 診察日／火曜日 午後 完全予約制

近森病院 脳神経内科 主任部長／認知症サポート医 細見 直永
ほそみ なおひさ

認知症の症状は、進行度や原因となる疾患によって異なりますが、主に以下のような症状が現れます。

1 記憶障害(物忘れ)

- 直前の出来事を忘れる
例 さっき食事したのに、食べていないと言う
- 忘れたこと自体を認識できない

2 見当識障害

- 時間や場所、人がわからなくなる
例 今が何月かわからない、自分の家がわからない



3 判断力・理解力の低下

- 適切な判断ができなくなる
例 おつりの計算ができない、火の始末ができない



4 言語障害(失語)

- 話の内容がまとまらなくなる
- 言葉の意味を理解できなくなる



こんな症状が現れたら

認知症かも?



5 実行機能障害

- 料理や片付け、買い物などの日常生活の手順がわからなくなる
- 服の着方がわからなくなる

6 性格・感情の変化

- 怒りっぽくなる、興奮しやすくなる
- 意欲が低下し、無気力になる



7 妄想・幻覚

- 「お金を盗まれた」「家族が自分を騙している」などの被害妄想
- 見えないものが見えたり、聞こえない音が聞こえる(幻視・幻聴)

8 徘徊

- 家に帰る道がわからなくなる



など

これらのような症状により日常生活が困難となっている状態を、認知症といいます。認知症には、特発性正常圧水頭症・甲状腺機能低下症・ビタミンB系欠乏症・肝性脳症など、早期であれば治療可能で認知機能の回復可能な疾患が原因となっていることもあります。不可逆的な状態に至ってしまう前に、適切な診断を行うことで改善が見込まれるものも含まれています。

超高齢社会を迎えている我が国において、認知症は65歳以上の14%が罹患している疾患であり、大きな医療・社会問題となっ

ています。これまで認知機能障害と戦ってきた経験(※1、2)を基に、高知県の認知症対策に寄与するべく、この度、物忘れ外来を立ち上げさせていただくこととなりました。

近森病院では、地域医療連携センターやWeb予約システムを通じて、患者さんのスムーズな受診を推進しています。しっかりと時間をかけて認知症の診療にあたることを考えており、完全予約制とさせていただきます。事前に診察予約を取っていただき、患者さんのご紹介をいただければ助かります。

※参考文献…1)細見直永 他.【脳-心-腎連関と認知症】脳の立場から.日本医事新報.4927:28-34,2018
2)細見直永 他.認知機能障害と脳小血管病変 口腔内環境との関連について.日本認知症学会誌.35:217-225,2021

講演会

高知医療再生機構講演会
シリーズ企画2024

『高齢者を診る・識る・癒す』

～エンドオブライフ・ケア、アドバンス・ケア・プランニングを考える～

第1回

演題

高齢者のための
エンドオブライフ・ケア

〈2025年1月30日／リモート講演〉

講師

東京大学大学院
人文社会系研究科
死生学・応用倫理
センター 上廣講座
特任教授

会田 薫子先生
あいた かおるこ



第2回

演題

アドバンス・ケア・プランニング
臨床現場でどのように実践するか

講師

筑波大学医学医療系緩和医療学 附属病院緩和支援治療科 教授
木澤 義之先生
きざわ よしゆき

〈2025年2月7日〉



中央：講師の木澤先生、その左隣：主催の近森病院学術担当 土居義典顧問

看護部

新人看護師研修「振り返りの会」

2025年2月6日

さまざまな方たちと成長を見守り伝える

看護部 キャリア開発課 看護師長 久保 博美 くぼ ひろみ

2024年度新人看護師研修「振り返りの会」を、5年ぶりに3院合同で実施しました。みんなの成長を共有したく各出身学校にもご案内したところ、5校から11名の先生方もご参加くださいました。

久しぶりに先生方や同期に会えたこと、部署の先輩たちから力作の応援メッセージをもらったことで感激して、笑顔の多い会となりました。個人発表では今後の課題、自分の強みを課題にどう活かしていくかを発表し、先生方からコメントもいただいたことで、自分たちも成長を実感した様子でした。

研修後の感想にも多くの記載がありましたが、中でも「自分のことを見てくれているのだと嬉しかった」という感想から、常に誰かが成長を見守っていること、それを伝えられる=感じられる状況を工夫し、今後も成長支援をしていきます。



▶ 次年度新人看護師へのメッセージも作成しました。



入江理事長の

近森会の今後の新しい
プロジェクトをご紹介します

Project
プロジェクト

今月は掲載を
お休みいたします。
次の「プロジェクト5」は、
5月号に掲載予定です。



アメリカ臨床留学 レポート —vol.8

Johns Hopkins大学
リウマチ膠原病内科(留学中)
吉田 剛 よしだ たけし

≡ 米国生活と英語 ≡

米国留学も残すところ4か月となりました。留学生生活を始めたころは、1年間という長い期間を単身で過ごすことに不安がありましたが、振り返るとあっという間に8か月が過ぎ、時の経つのは早いものだと実感しています。

様々なレベルの英会話に触れて

さて、留学生活が終盤に差し掛かっているのに、私の英語力は期待したほどは伸びていないようです。確かに買い物やタクシーの乗り降りといった日常生活での英語や、患者さんの問診などで困ることはあまりなくなりましたが、病院のスタッフや患者さんとの電話でのやり取りにはまだ不安が残りますし、何よりも同僚とのカジュアルな雑談は難しいと感じます。1対1では話せても、複数でネイティブのペースになると極端に難しくなります。周りの日本人留学生も、帰国子女でない限りはみな同じような苦労をされているようです。また、同じ地域でも社会的・文化的背景や人種によって、英語での話し言葉がまるで別の言語なのかと思うくらい違いました。今更になって英語をもっと勉強しておくべきだったと反省しています。

街中で交わされるリアルな英語を解する力

高いレベルの英語力を留学前に身に付けるのは難しいことだと思います。私自身は英語のニュースを聴いたりオンラインの英会話のコースを利用していました。確かにニュースで話すような丁寧な英語は聞き取りやすいのですが、実際に街中で交わされるリアルな英語とはかなりギャップがあります。今思えば、海外の映画やドラマの台詞をシャ



フェルズ・ポイントにあるお気に入りのカフェと、海沿いに続く賑わいのある通り。

ドーイングするような練習をもっとやっておけば、もう少し苦労も少なかったのではないかと考えています。

将来の留学のために医学英語を勉強したい人には

2021年から外国人医師が米国で医師資格を取得するための英語力を評価する試験として、OET(Occupational English Test)が導入されました。この試験はオーストラリア発祥の医療分野に特化した英語試験で、日本国内でも受験可能です。この試験はリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングから構成されますが、特にリスニングが難しいと言われているようです。様々な発音に対応するリスニング力、細かい音を聞き取る音声知覚、前後の文脈から内容を推測する力が求められるとのことです。私自身はOET導入以前に資格を取得したためこの試験を受けたことはありませんが、将来の留学のために医学英語を勉強したい人はぜひ検討してみてくださいはどうか。



ボルチモアの日本人医師留学生の集まりでの1枚。

2024年度 職員旅行 —最終回—

TDR+東京フリー1泊2日 2班(1dayバス付)

2025年2月3・4日



昨年度復活した職員旅行は、国内31コースに1,000名超の参加がありました。今年度も行けるよう、皆で頑張りましょう!

近森病院 院長
川井 和哉
かわい かげや

すまいる♥ナース通信 # 認定看護管理者



近森会グループ看護部
マスコットキャラクター モリンちゃん

多角的視野 管理の魅力 チームの一員として

地域医療連携センター 看護師長/
認定看護管理者

濱口 富代 はまぐち とみよ

看護師になった頃、自身が管理の立場に立つて仕事をするなんてことは想像もしていませんでした。ですが今、管理をする立場となり、一緒に仕事をする人達のやる気を引き出し、チームとして最高のパフォーマンスを発揮していくのにはどうしたらいいのかわかずに試行錯誤する日々です。

一歩引いた目線で物事を考え、相手の立場に立った戦略や方針を描けるようになりたいと思っています。また、次世代を担っていく優秀な人材を育てるには、管理職の魅力を高め、その魅力を正しく伝え、目指したいと思える役割・役割として機能させることが必要不可欠だと考えています。自身のキャリアゴールや価値観を明確にし、それに基づいて意思決定が行え、管理が楽しいと思える日まで前進していきたいと思っています。



筆者：左端、地域医療連携センタースタッフと一緒に。

栄養で支えるがん治療

近森病院 臨床栄養部

近森病院 臨床栄養部
管理栄養士 主任

田部 大樹
たべ だいき



食事に関する情報源

今回は「食事に関する情報源」についてです。

いろんな情報がある中で、管理栄養士の栄養食事指導について「ゆっくり丁寧に教えてもらって安心した」と言ってくださる方がいらっしやり、栄養士冥利に尽きる言葉です。ただ一般的に、患者さんの情報源で一番多いのは「主治医」で、次に多いのは「インターネットの検索」です。また、医療職に相談しても食事に関する不安が軽減しなかった割合は40%程度であったと報告もあります。その要因として、「治療のことは医師に聞けたけど食事のことまでは聞けなかった」、「相談するようなことではないと思った」という声を聞きます。また、インターネットやSNS上では「〇〇のがんに効く!」といった情報が氾濫していて、混乱しやすいのではないのでしょうか。

ある文献によると、栄養士の食事への介入は患者さんの不安軽減に寄与することが報告されています。そこで栄養士の出番なのですが、栄養士を含むコメディカルへの相談を行なった方は0~7%程度です。

最近までNHKで「栄養士」が主人公のドラマが放映されていましたが、病院の栄養士にも興味を持っていただき、ぜひ「栄養士からの話を少し聞いてみたい」と思っていたら幸いです。



外来でもベッドサイドでも!
お食事については、
私たち管理栄養士へ
お声がけください。

職員募集

3,000とおりの誇れる仕事

詳しくは、近森会グループHPの採用ページをご覧ください。



募集職種

- 医師
- 看護師
- 介護福祉士
- 救急救命士
- 理学療法士
- 作業療法士
- 言語聴覚士
- 薬剤師
- 診療放射線技師
- 臨床検査技師
- 事務

看護学校へ寄付 感謝状進呈 ～柴田恵子基金の創設～

2025年2月12日

近森病院附属看護学校 学校長 山崎 正博
やまさき まさひろ

2025年2月12日、将来高知県で働く看護師を応援したいという趣旨で、株式会社ドデカゴン社長 柴田恵子様から一千万円を近森病院附属看護学校に寄付していただきました。看護学校ではこれを元に基金を創設し、在校生の各種課外活動に活かしていきたいと考えています。

高齢化と人口減少が急速に進む中で、社会のインフラあるいはライフラインの中で最重要視される医療の世界へ進む学生が減っています。一方、看護学生教育では学力のみならず、人間性を深め、社会人基礎力をつけることも重要です。この基金を元に、学生の全人教育に活かしたいと考えています。

柴田様はこれまでいろいろな組織や人に寄付されてきた方ですが、寄付文化の根付いていない高知県で、自分が先駆けとして、社会を担う人材を育てる学校を応援したいとの気持ちから寄付をいただきました。学校はもちろんですが、近森会全体でその篤志に応えたいと考えています。有り難うございました。



インドネシア人スタッフさん 高知見聞録

振袖体験 2025年2月16日

プライダルスクエア ひよしや様のご協力をいただき、1期生9名が振袖を体験、帯屋町を散策しました。

楽しみながら日本文化に親しんでもらい、これからの生活や介護現場で活かしていただけたら幸いです。



未来の自分を考えるGW

開催日
2025
5/3
【土・祝】

医療職のリアルに触れる！
高校生進路発見セミナー
in 近森病院

第6回 ALL CHIKAMORI
近森就職セミナー
GW 今回も**13職種**が集まります！

近森就職セミナーのお申込み・詳細はこちら！

近森就職セミナー で検索
もしくはQRコードよりチェック！
特設サイト▶



近森病院附属看護学校
2024年度・第8期生

卒業式

2025年3月7日

次の目標に向かって

近森病院附属看護学校 3年生
楠瀬 正子 くすのせ まさこ

看護師になるという目標を立てたのは6年前でした。そこから学費を貯めるために県外に転職して3年、無事に看護学校に入学して、ようやく6年越しの夢が実現しようとしています。

久しぶりの学生生活では、年代も経験も違ったクラスメイトと切磋琢磨し、学ぶことが楽しいと思う反面、現場で働く看護師さんのアセスメント力のすごさや責任の重さ、大変さを実感し、私にやっていけるだろうかと不安になることも沢山ありました。その度に、先生や指導者の皆様の言葉に励まされ、友人や家族に支えられて卒業までたどり着くことができました。

次の目標は、自分の目指す看護師像に近づくこと。何年かかるかわかりませんが、一日一日を大切に、これからも頑張っていきたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



3年間を振り返って

近森病院附属看護学校 専任教員
松浦 美樹 まつうら みき

3月7日、8期生の卒業式が行われました。前日まで雨が続きましたが、当日は雲一つない晴天でした。「3年前の入学式もこんな青空だったな」と思い出し、当日の朝涙が出ました。

8期生が入学した年は、新型コロナウイルスの影響で、行動制限を余儀なくされ、黙食や登下校時の体温確認などを徹底して行っ時代でした。そんな中、学校行事では、クラスで協力し、いつも全力で楽しむ姿がとても印象的でした。国家試験では、全員で円陣を組み会場に向かった姿を今でも忘れません。決して器用ではなく、時に意見が分かれた時にはぶつかり合い、それでも誓いのセレモニーで宣誓した「助け愛(合い)、支え愛(合い)」ながら3年間を過ごしてきました。

寂しい気持ちでいっぱいですが、37名それぞれが新しい道をスタートしてほしいと心から願っています。



学生表彰受賞の皆さん



橋渡し役として、より円滑な意思疎通を

近森会 理事長補佐 兼 近森病院 臨床工学部 部長
平野 友紀 ひらの ゆき

この度、理事長補佐という重責を拝命いたしました。身に余る光栄であり、その責任の重さに改めて身が引き締まる思いです。

少子高齢化と医療従事者不足が深刻化する中、医療機関を取り巻く環境は厳しさを増しております。そのような状況下において、理事長が推進されるDX化は医療現場の効率化と患者サービスの向上に不可欠な取り組みであると認識しております。理事長のビジョン実現に向け、この1年間、微力ながらも全力を尽くし、貢献していく所存です。

理事長と周りの方々との橋渡し役として、円滑な意思疎通を図ることで、組織全体の目標達成に貢献したいと考えております。また、周囲の方々との連携を密にし、チームワークを尊重しながら、課題解決に向けて真摯に取り組んでまいります。



未熟な点も多々あるかと存じますが、常に謙虚な姿勢で学び続け、一日も早く職務に慣れ、皆様のご期待に応えられるよう精一杯努力していく覚悟です。皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

最先端の医療の提供を目指し続けたい

近森病院 循環器内科 部長
細田 勇人 ほそだ はやと

私は循環器集中治療に今後とも取り組んでいきます。心臓や血管の病気である循環器疾患の終末像といえる重症心不全患者さんに対して、最先端の医療を提供することが循環器集中治療です。

現在、循環器疾患に対する治療は多様化しています。一方で、心不全はがん患者さんよりも多く、更に増加し続けています。心不全患者さんの一助になればと思っています。

【出身大学】 東京医科大学 2009年卒業、
熊本大学大学院 2020年修了

【主に担当する疾患・手技】

重症心不全、虚血性心疾患、構造的な心疾患

【認定資格】

・日本内科学会・総合内科専門医・認定内科医

・日本循環器学会・循環器専門医

・日本心血管インターベンション治療学会・専門医

・日本集中治療学会・集中治療専門医

・WATCHMANTレーニング受講完了医

・MitraClipトレーニング受講完了医

・日本心血管インターベンション治療学会・

経皮的卵円孔閉鎖術実施医

・経カテーテル的心臓弁治療関連学会

協議会・TAVI指導医

・医学博士(熊本大学・2020年)

近森会グループで元気に働く仲間を紹介します

地域医療への貢献を目指して

近森病院 整形外科 科長
枝重 光洋 えだじげ こうよう

昨年4月に東京女子医科大学病院から近森病院に赴任し、肩関節外科を中心に診療しています。関節鏡視下手術や人工肩関節置換術、さらに骨折手術にも日々取り組んでいます。

この度、整形外科科長に就任しました。地域医療への貢献とチーム医療の充実に努めてまいります。



【出身大学】

大阪医科大学 2006年卒業

【主に担当する疾患・手技】

肩腱板断裂、拘縮肩、反復性肩関節脱臼、変形性肩関節症

【認定資格】

・日本整形外科学会・整形外科専門医

・日本整形外科学会・認定運動器リハビリテーション医

ご指導のほど よろしく お願いいたします

財務部 施設設備課
課長代理

多田 和正

ただ かずまさ



この度、財務部施設設備課課長代理を拝命いたしました多田です。

当課の業務につき

まはしては、院内すべての皆様と関わる可能性がある部署となりますが、円滑に業務を遂行するにはコミュニケーションをとることにより、よりよい関係性を構築することが最も重要であると考えています。

責任のある立場となり身が引き締まる思いですが、皆様方におかれましては今後も更なるご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

ハッスル研修医

折り返し点、通過しました

私は高知県出身で、趣味は陸上競技です。この2月には龍馬マラソンに初挑戦し沿道からの温かい声援を受け、無事完走することができ、高知は素晴らしい所だと改めて感じました。

さて、そんな高知県の真ん中で研修をしている私ですが、時間が経つのは早いもので2年目となりました。1年目の初めは仕事に慣れることに必死で、緊張と不安を抱きながら毎朝スクラブに着替えていました。

今でも不安は尽きませんが、スタッフの皆様によく、時には厳しくご指導いただきながら、初期研修の折り返し点を通することができました。これからもご迷惑をお掛けすることが多々あると思いますが、無事2年間を完走できるよう今後ともご指導の程、宜しくお願いたします。

初期研修医 2年目
宮地 博紀

みやじ ひろき



2025年2月20日

職員対象

健康保険組合主催 健康セミナー

「婦人科医に聞く 生理痛・PMS・更年期障害の 治療法・対処法」

講師 けやまクリニック 毛山 薫先生

けやま かおる

「早く知りたかったわ～。あの辛い期間を楽に過ごせる方法があったなんて!」「無駄にガマンして人生損した!」「娘には絶対教える」等々、毛山先生の軽妙な語り口に引き込まれた参加者からのお声です。参加できなかった方もアーカイブ配信を視聴して、辛いガマンの日々とお別れしましょう。サイボウズのSafe Masterにあります。

執筆



近森リハビリテーション病院
6階病棟 看護師 主任

畠中 麻衣

はたけなか まい



『回復期リハビリテーション』第23巻第4号
特集1

「回復期リハビリテーション病棟の質の向上」内

「脳卒中再発予防
～集合研修にロールプレイを導入、
看護の観察・対応力向上狙う」

を執筆しました。

CHIKAMORI COLLECTION

近森コレクション

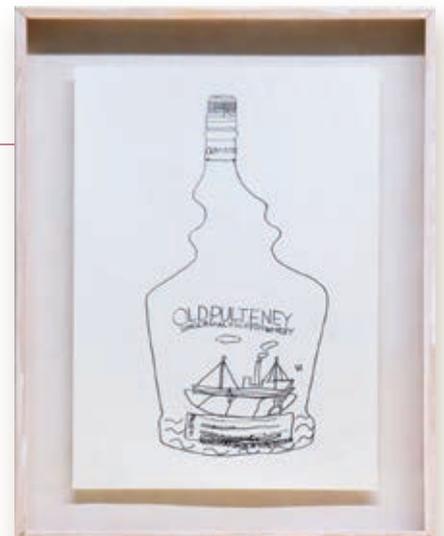
不定期
掲載

オールドプルトニー
060603

内田 貴裕氏
(アートセンター画業)



アートセンター画業





リレーエッセイ

久しぶりの旅行

医事課 片岡 春佳

かたおか はるか



子ども達の年齢や感染症の流行などもあり、7年振りに家族で大阪旅行に行ってきました。

平日なので、あまり人がいないだろうと思いきや、どこへ行っても外国人旅行者で溢れており日本語がほぼ聞こえてこず。「これがインバウンドか!」と実感した旅行になりました。

今回の旅行は子ども達も大きくなったことから、社会勉強を兼ねて移動は電車を利用しました。初めての電車で自動改札機、高知では滅多に体験できない人波にあたふた。それでも、乗り間違いや乗り遅れの心配をしなくとも数分毎に来ること、



車に乗らずとも簡単に隣県まで行ってしまう電車の利便性に子ども達はすっかり魅了されていました。

私自身、大阪は17年振り。公共交通機関が充実し、駅構内で買い物等が完結できてしまう利便性はありがたいと改めて感じました。一方、不便なことも多いけれど、自然豊かでゆっくりと時間が流れる、何よりも人混みにもみくちゃにされながらせわしなく生活せずに済む高知の良さも再実感した旅行になりました。



私の趣味



登山の魅力

近森病院 リハビリテーション部
理学療法士

鏡原 蒼 かがみはら あおい



元々登山に興味があり、3年前から友達といくつかの山を登っています。ゆるーく楽しく登りたいので、春や秋の日帰りで行ける四国内の山に限ります。今まで印象に残っているのは、快晴の瓶ヶ森や、霧に覆われ周りが一切見えなくなり往復7時間かかった三嶺などです。

登山に魅了された理由は、真っ青な空や澄んだ空気、季節の草花、鳥の鳴き声を近くで感じられるところです。また登山途中の友達とのおしゃべりや頂上でのご飯、山小屋でのグッズを見ることも楽しみです。



ここ最近はお産・子育てもあり全く登れていませんが、落ち着けばまた標高が低い山から再開したいと思っています!

FREE

まるまる
私の○○○○にフリーワードを入れて
語っていただきました

私の「ハレとケ」

近森病院 外来センター 看護師長

田村 一恵 たむら かずえ



数年前にドラマの『サ道』にハマリサウナのとのう感覚を求め、休日は県内外のサウナやサ道のロケ地を巡ることが、私のケ(日常)です。

一方、ハレ(特別な機会)は、10年前に高知で古典のフラダンスを指導して下さる山本先生と出会い、それまで現代フラしか知らなかった私は、すっかり古典フラの魅力に引き込まれました。コンペや県内外のイベントでフラを踊る機会もハレの日ですが、山本先生の師でありフラマスターのヒューエット先生がお住いのハワイ島ヒロで古典フラの指導をいただいた経験は、最高のハレ(特別な機会)となりました。ハワイ島での経験は、帰国してからの私自身のフラに向き合う気持ちや踊りにも変化をもたらしてくれました。

フラの動きは優雅に見えますが、結構体力が必要です。これからもサウナでとのうケ(日常)でリカバリーしつつ、60代・70代になっても優雅にフラを踊りハレ(特別な機会)を楽しみたいと思います。



近森
相談役の
ぶらり
旅

花が咲きほこる あしかがフラワーパーク



▲ 大藤 樹齢160年、600畳の広大な藤棚に咲き乱れています。

藤の咲く季節に、あしかがフラワーパークにぶらりと行って来ました。4月下旬～5月上旬の藤ばかりでなく、夏～秋にはさまざまな花が咲きこぼれ、冬には日本三大イルミネーションの1つ「光の花の庭」が有名です。なかでも大藤は圧巻で、CNNが選出した「世界の夢の旅行先10選」に日本で唯一選ばれています。

ちなみに、開花が最も遅い藤は何色でしょうか？

(①うす紅 ②紫 ③白 ④黄) (答えは7ページの下)



▲ うす紅藤
休憩スペースの上にはさくら色の藤が日影を作っています。



▲ 大長藤
花房が最長1.8mにも成長します。



▲ 八重黒龍の八重藤
貴重な八重咲の大藤です。



▲ 白藤
気品と香り漂う長さ80mの白藤のトンネル。



▲ きばな藤
日本では珍しく、ヨーロッパ中南部原産です。

看護学校通信

私募債「学び応援債～未来への絆～」の寄贈式

2025年1月20日

近森病院附属看護学校 教務主任
上総 満高 かずさ みつたか

この度、四国管財株式会社様が発行する私募債「学び応援債～未来への絆～」を四国銀行様が引き受け、「車椅子、吸引器、手洗いチェッカー」をご寄贈いただく運びとなり、2025年1月20日に本校にて寄贈式が行われました。

「学び応援債～未来への絆～」は、四国銀行様が私募債発行企業から受け取る手数料の一部を図書やスポーツ用品などの教育に資する物品の購入にあて、教育機関などに寄贈するものです。

寄贈品は看護技術等の学内演習で、大事に活用させていただきます。今回のご寄贈にあたり四国管財株式会社様、四国銀行様に深く感謝申し上げます。



編集室通信

春の夜にほのかに霞んでいる様子は「朧月夜」^{おぼろつきよ}。源氏物語に登場する朧月夜は、あでやかで奔放な美女で、物語では珍しく、光源氏との激しい恋が描かれています。名前の由来は和歌「照りもせず曇りもはてぬ春の夜の朧月夜にしく(似る)ものぞなき」からきています。この時季、月が霞んで見えるのは、中国から飛んでくる黄砂の影響とか。 Raity

診療数 2025年2月

— 電子カルテ管理課 —

● 近森会グループ

| | |
|--------|---------|
| 外来患者数 | 14,844人 |
| 新入院患者数 | 935人 |
| 退院患者数 | 933人 |

● 近森病院(急性期)

| | |
|---------------|---------|
| 平均在院日数 | 13.30日 |
| 地域医療支援病院 紹介率 | 103.67% |
| 地域医療支援病院 逆紹介率 | 345.65% |
| 救急車搬入件数 | 482件 |
| うち入院件数 | 248件 |
| 手術件数 | 540件 |
| うち手術室実施 | 328件 |
| うち全身麻酔件数 | 245件 |

北川 知子

Tomoko Kitagawa

近森病院 8A病棟 看護師

聞き手／ひろっぱ編集部



だから
食べる、働く、遊ぶ
ベテラン看護師の
幸せ理論

食べたい時に 食べたいものを食べる

「いつ何が起こるか分からないからダイエットはやめたんです。最期に『あれを食べたかった』と思うのはイヤ!だから毎回健診にひっかかっています」と、軽快な口調に思わず笑ってしまいましたが、どうやら看護師歴約30年の経験からの本音のようだ。

2度の被災地派遣を通じて

北川看護師は、2016年はDMAT隊員として熊本県へ、2024年はVHJ(※)の要請で石川県能登半島に派遣された。

「熊本では農家さんが苺やおにぎりを届けてくれたんです。自分たちこそ大変な状況なのに、他人を思いやり、おもてなしができるなんてすごい」と。その出会いは、人間として学びがあったと語る。「同時に、食べたいものが食べられることはなんて幸せなんだろうとも思ったんです」と。

昨年末には、能登半島地震での支援活動



恵寿総合病院のスタッフから貰ったお礼の言葉。感謝の言葉で埋め尽くされている。

※VHJ機構…地域医療の中核を担う民間の基幹病院が相互に医療や経営の分野で学びあう組織。

が評価され、近森会グループMVPを受賞。その時の思いを問うと、「これは関わったみんなでもらったものです。最初に能登で活動したDMATチーム、その後、石川県の恵寿総合病院で活動したメンバー全員と不在時を支えてくれた院内各現場の方々のおかげ。例えば移動ひとつをとっても、被災地への道中は道が遮断されるため、遠回りや起伏したアスファルトを運転しなければならず、安全に着けるかも重要でした」と配慮する。「支援先の看護師たちも、私たちのような派遣看護師に、パスワード設定などを毎回教えるのは煩わしいはずなのに、嫌な顔もせずに最後は色紙まで頂いて」と振り返った。

一方で、支援業務について聞くと「数日間で、採血室、整形・内科の混合病棟などを任されましたが、困ることはなかったです。20代の外来、ERの経験、30代の病棟の経験、40代のSCU、最初のコロナ病棟の経験を経て50代の今だから行けたと思います。性格も丸くなったし(笑)」と、ベテラン看護師の底力を被災地で発揮したもよう。

「え!30年も働いているの?この間成人式したばかりなのに」と、良い話の後には自虐ネタを差し込み照れ隠しをするかわいらしさもまた、北川看護師の魅力なのかも。

旅行とライブで幸せ気分

コロナ禍後、楽しんでいるのは県内外問わず気になるアーティストのライブへ行くこと。「好きなアーティストに会えると思うとおしゃれをしたくなったり、仕事も頑張れます。ちなみに聴診器は“推しの色(紫)”なんです」とニコニコ。「中山美穂さんの高知コンサートも行く予定だったのに…。だから行け



「旅行では、ただただ遊びまくって夢中になり過ぎて、毎回写真が少ないことを反省しています」という中で探し出してくれた、旅行中の1枚。

る時に。自分のお金と時間が許す限りは行きたいです」と宣言。後悔のない選択が幸せへの糧となっているのだろう。

また、近森病院の同僚である親友とは5年ごとに二人旅へ。40歳は京都、45歳はディズニーランド、そして50歳の昨年は沖縄へ。「ディズニーでは彼女はダッフィー、私はミッキーを追いかけていました。お互いそれぞれ楽しんでます。5年後はどこへ行こうかと、さっそく思いを巡らしていた。

「幸せ」は日常にあふれている

今回の取材で、かなり多く聞かれたキーワードは「幸せ」という言葉。その幸せとは「日常の有難さ」から紡がれる。コーヒーが飲みたい時に飲めること、近所の焼き鳥店の豚バラをはおぼること。好きなアーティストのコンサートに全力投球すること。

2度の被災地支援や、日々さまざまな病気やけがをサポートするベテラン看護師の立場だから伝わってくる堅実な言葉である。人はつい、誰かをうらやんだり、今ないものに幸せを求めてしまうが、日常の当たり前を「幸せだ」と感じ、口にする北川看護師の姿から学ぶものは大きいように思う。

